

Ulead® **VERSION 7.0**
PHOTO EXPLORER

ユーザーズガイド

Ulead Photo Explorer バージョン7.0 第二版 2002年9月

Copyright © 2000 Ulead Systems, Inc.

All rights reserved.

本マニュアルの一部または全部について、Ulead Systems, Incからの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録、他言語への翻訳など如何なる方法、如何なる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはなりません。

ソフトウェアライセンス

この文書で説明したソフトウェアは、添付のライセンス同意書に基づいて提供されたものです。この同意書には、本製品の使用上の同意事項又は禁止事項を記載しています。

ライセンスと商標

ICI Library © 1991-1992 C-Cube Microsystems.

Ulead Systems, Inc. とUlead ロゴは Ulead Systems, Incの商標です。他の全ての商標は、各権利者所有によるものです。

それぞれの製品名は、識別のみを目的としたもので、各権利の所有者の権利の侵害を意図するものではありません。

テクニカルサポート

登録済みのユーザーはUleadのテクニカルサポートを受ける権利を所有します。当社のWebサイトではPhoto Explorer、他のUlead 製品やフリーダウンロードに関する最新情報が利用できます。当サービスを利用するにはWebサイトwww.ulead.co.jpへアクセスするか、support@ulead.co.jpへEメールでお問い合わせください。

Ulead Systems, Inc.

ユーリードシステムズ株式会社

住所: 東京都世田谷区用賀4-5-16TEビル2F 〒158-0097

サポート: 03-5491-5662 (平日10:00-12:00/13:00-17:00)

FAX: 03-5491-5663

サポート宛E-mail: support@ulead.co.jp

<http://www.ulead.co.jp>

International Headquarters

Tel: +886 2 2659 7588

Fax: +886 2 2659 7388

E-mail: info@ulead.com,tw

<http://www.ulead.com>

目次

Ulead [®] PhotoExplorerへようこそ	4
本バージョンの新機能	4
必要なシステム	6
プログラムのインストールと立ち上げ	6
iMiraのフリーフォト共有アカウント	6
PhotoExplorerの概要	7
ブラウザ	7
ビューア	8
PhotoExplorerのカスタム	9
作業環境の設定	9
カスタムツールバー	10
ファイルのブラウズと管理	11
ファイルをサムネイルやリストビューで表示する	11
サムネイル表示のスピードアップ	11
プレビューファイル	12
ファイルのブラウズ	13
マルチメディアファイルの管理	14
お気に入りのフォルダのリストを作成	15
デジタルカメラやスキャナとの連携	16
デジタルカメラウィザード	16
TWAINデバイスからの入力	17
ファイル名の変更と順序の並べ替え	18
ファイルの順序をドラッグとドロップで並べ替える	19
イメージの表示	20
PhotoExplorerの内蔵ビューアを利用する場合	20
Ulead Instant Viewerを利用する場合	20
次のイメージファイルを見る	21
デジタルフォト情報の表示	21
イメージの編集	23
イメージの編集ツール	23
イメージの調整	24
レッドアイの除去	25
テキストを含んでいるイメージの調整	25
印刷	26
ステキなプリントをすることが出来ます	26
ビデオデータの利用	27
ビデオのキャプチャとトリム	27
ビデオから静止画をキャプチャする	28
スライドショーやカレンダー作成などのお楽しみメニュー	29
スライドショーの作成	29
スライドショーの表示	31
スライドショーディスクの作成	32
他の楽しいプロジェクト	33
インターネットとの連携	34
imira.ne.jpでイメージを共有	34
オンラインで写真のプリントを注文	35
Web向けのサムネイルページを作成	35
Web向けのスライドショーページを作成	36
インターネットからイメージをスキャンする	37

Ulead Photo Explorerへようこそ

Ulead Photo ExplorerはPCでのデジタル画像処理をより楽しくします。デジタルカメラ、メモリーカードリーダーやスキャナから、あっと言う前にイメージデータをコンピュータに取り込み、画面で画像表示を見ながら、イメージファイルを整理する事が可能です。又、作成したイメージで挨拶状や賀状の印刷ができ、色々なサイズとレイアウトで、あなたオリジナルのフォトプリントを作成できます。さらにPhoto Explorerからダイレクトにビデオデータをキャプチャし、即座にWebページを作成する事も出来ます。

本バージョンの新機能

Photo Explorerバージョン7 はファイルの閲覧、デジタルカメラからのイメージ転送、イメージの編集、Eメールでのファイル転送、Webのプロジェクトの作成等について、関連機能を強化する事により、これらの操作をより直感的なものに進化させました。さらに本バージョンからは新たにビデオキャプチャ機能を追加しました。

Photo Explorerは、以下の新しい機能を備えております：

#1

ブラウズインタフェースの強化

フォルダをより迅速かつ便利にアクセスできるPhoto Explorerのブラウザーはファイルを探しやすくすることを実現し、更に扱いやすいものになりました：

ツールバー - 大小2つのアイコンでツールバーをカスタムすることが可能です。

フォルダビュー - タブをクリックする事により、[フォルダ]、[お気に入り]、[最近開いたフォルダ]の間の切り替えを行えます。

ブラウズペイン - サムネイルでファイル詳細を表示します。サムネイルをJPEG (Exif) イメージに付加する事により、ブラウズ速度を向上させることができます。

プレビューペイン - マルチメディアファイルからスライドショー内容を表示することが可能です。又、フォルダアイコンも表示可能です。



#2

印刷レイアウトの追加

カード – 指定したイメージファイルで1/2フォルダや1/4フォルダサイズの挨拶状や年賀状を印刷する事が可能です。

フォトサイズと特殊レイアウトを追加 – イメージを大きい18インチサイズや小さい2インチサイズに印刷する事が可能になりました。又、異なったイメージサイズを同じページに印刷する事も可能になりました。



#3

スタンドアロンビューア搭載

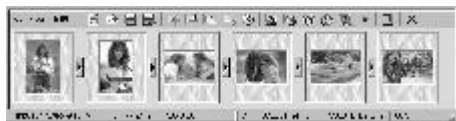
Ulead Instant Viewer – 二つ又はそれ以上の数のフルサイズイメージを同じウィンドウに表示して、比較する事が可能です。イメージファイル形式はUlead Instant Viewerに合わせます。



#4

スライドショーの強化

イメージ、ビデオと音声ファイル – イメージ、ビデオとオーディオファイルでスライドショーを構成する事が可能になりました。複数のイメージ表示の継続時間を一括、あるいは個別に設定することが可能です。スライドショーをスクリーンセーバーとして利用できます。



#5

ビデオ機能を追加

キャプチャ、トリムと変換 – ビデオクリップや静止イメージをキャプチャしたり、ビデオファイルをトリムしたり、ビデオファイルの形式を変換する事が出来ます。

#6

ファイル管理、イメージとWeb用の機能追加

ファイル管理機能強化 – 説明用のテキストをイメージに付加したり、ファイル名や説明内容や作成日付でイメージを検索したり出来ます。又、ドラッグ&ドロップでイメージを再アレンジしたり、序列番号を並べ替える事も出来ます。

デジタルカメラに関する機能の強化 – ご使用のコンピュータに接続したフラッシュメモリカードの読み取り用機器も、自動的に識別する事が可能になりました。

イメージ調整機能強化 – 複数のイメージを調整する事が可能です。

インターネットツールの強化 – インターネットWebを通じてのフォトプリント注文機能を提供します。WebサムネイルとWebスライドショーを作成する際に、更に多くのレイアウト設定が可能になりました。

必要なシステム

PhotoExplorerをインストールする前に、ご使用のコンピュータが以下条件に適合している事を確認して下さい：

- Intel[®] Pentium[®] プロセッサー (或いは100%互換のプロセッサー)
- Microsoft Windows[®] 95/98/Me, NT 4.0, 2000 又はそれ以降
- 32 MB 以上のRAM
- 30MB以上のハードディスク空き容量
- ツールカラーまたはハイカラーの表示が可能なディスプレイアダプタとモニタ
- 800 x 600 以上の解像度
- Windows対応のポインティングデバイス
- Microsoft Internet Explorer 4.0又はそれ以降
- インターネット接続環境(推奨)
- オーディオカードとスピーカー(推奨)
- DirectX 6.0 またはそれ以降 (ビデオ機能のみ必要)

プログラムのインストールと立ち上げ

Photo Explorer のインストールは簡単です。プログラムCDをCD-ROMドライブにセットして、画面に表示された指示を従って、インストールを完成してください。

自動起動しない場合は、[setup.exe] 直接実行してインストールしてください。

プログラムを立ち上げる場合、ウインドウズの [スタート] - [プログラム] - [Ulead Photo Explorer7] - [Ulead Photo Explorer7] を  クリックします。

Tip

PhotoExplorerに関する詳しい情報の入手は、
F1キーを押して、オンラインヘルプを利用することができます。

iMiraのフリーフォト共有アカウント

Photo Explorer が初めて立ち上がった場合、[Ulead iMira へのサインアップ] のダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスでwww.iMira.ne.jp へのフリーフォト共有アカウントをサインアップすることが出来ます。www.iMira.ne.jp はUlead社が提供するフォト共有Webサイトです。お気に入りのイメージをこのWebへアップロードする事により、家族や親友、同僚がこれらのイメージを共用することが可能となり、フォト印刷の注文をも依頼も出来ます。詳細について、“iMira.の共有イメージ”と“オンラインフォト印刷注文”（ページ34から35）をご参照下さい。

Photo Explorer 概要

Photo Explorer はビデオを取り込む、表示する、管理する、調整する又は共有する等の機能を、一つのインターフェースに集約しました。又、[ブラウザー] 機能を提供することにより、コンピュータのファイルとフォルダをブラウズ、プレビュー、管理することが出来ます。又、[ビューア] 機能を通じて、イメージをフルサイズで表示できます。

ブラウザー

Windows Explorerと同様に、Photo Explorerの[ブラウザー] では、コンピュータのドライブとフォルダの階層は左側に、選択したフォルダのファイルは右側に表示されます。この場合、Photo Explorerのブラウザーはサムネイルでマルチメディアファイルを表示する為、簡単に識別することが出来ます。ファイルをクリックするのみで、即座に該当ファイルの内容がわかります。イメージをプレビューするだけではなく、ファイルを開かなくても、実際にオーディオ、ビデオやGIFアニメを再生する事も出来ます。その他に、基本的なイメージ編集機能も備えています。又、イメージ、ビデオやオーディオを組み合わせて、スライドショーを作成できます。

カスタム可能な
ツールバー

フォルダ
ツリー

プレビュー
ペイン



アドレス
バー

ブラウズ
ペイン

スライドショー
ストーリーボード

Photo Explorerのブラウザーでは、いくつかのフォルダ表示方式を選択する事が出来ます。[フォルダツリー] では、[お気に入りリスト] に切り替える事により、頻繁に開くフォルダを集める事ができます。又、本ブラウザーは[最近開いたフォルダ] を追跡しており、これらのフォルダへ迅速にアクセスすることが出来ます。

ビューア

Photo Explorerのブラウザーには、内蔵式ビューア（画面切り換え式）を組み込んでいます。この内蔵式ビューアで：

- イメージをフルサイズまたは全画面で表示する事が可能です。
- キーボード、ツールバーボタン、メニュー指令でイメージを閲覧したり、あるいはビューアが自動的にイメージを次々に表示することが可能です。
- イメージファイルのコピー、ファイル名の変更、又はイメージファイルの削除が出来ます。
- コピーしたイメージをお気に入りのイメージエディタに貼り付ける事が出来ます。
- イメージの回転、フリップ、編集をした後に変更済みのイメージを保存します。
- 作成したイメージを壁紙やスクリーンセーバーに利用できます。



Photo Explorerの内蔵ビューア

UleadInstantViewer はスタンドアロンイメージビューアで、Photo Explorerに付属しているものです。これは簡潔かつ独立したアプリケーションであり、イメージを表示することが唯一の機能です。二つ、又はそれ以上のフルサイズイメージを比較する場合、Ulead Instant Viewerを利用します。この場合、各イメージは異なったウィンドウに開きます。又、JPG、GIF とBMP ファイルとの関連付けをすることで、自動的にUlead Instant Viewerでこれらのファイルを開く事が可能です。

注意：この二つのタイプのビューアイメージに関する詳しい情報はページ“イメージの表示”を御参照下さい。



Ulead Instant Viewer
ウィンドウ

Photo Explorerのカスタム

どのようなアプリケーションを利用する際にも、作業を楽に進められる様に環境を設定することは大事なことです。色々なオプションを通じて、Photo Explorerの外観や操作性を、気に入るまで調整することが可能です。Photo Explorerをデフォルトのイメージビューアに設定する事も可能ですし、起動するイメージ編集用のプログラムも指定することが出来ます。

作業環境の設定

ファイル属性

ファイルメニューの[環境設定]で、Photo Explorerに関する設定が出来ます。この[環境設定]のダイアログボックスには、Photo Explorerの動作、全般の表示、サムネイルやイメージの表示方式に関するあらゆるカテゴリがあります。ご使用のデジタルカメラの設定も出来、これによりカメラからの情報の精度を向上させる事が出来ます。[環境設定]のダイアログボックスの[カテゴリ]をクリックして、該当の設定を調整して下さい。



Tip

主に基本的なイメージ編集を行っている方にとって、Photo Explorer は最適のイメージエディターです。Photo Explorerをデフォルトイメージビューアやエディタにする場合、環境設定のダイアログボックスの関連カテゴリを選択し、自動的にPhoto Explorerで開くファイル形式を指定します。

表示メニュー

[表示]のメニュー指令で、Photo Explorer のレイアウトとサムネイルの表示方式を設定出来ます。又は、このメニューでビューアにアクセスする事が可能です。関連の設定で、ファイルの表示方式を調整・アレンジして効率よく必要なファイルを開くか、ビューアにアクセスしてイメージを開く事が可能です。



カスタムツールバー

より簡単にPhoto Explorer の機能へアクセスする為に、これらをボタンの形式でブラウザやビューアのツールバーに追加することができます。

Photo Explorerの組み込みビューアのツールバーはカスタム可能です。ただし、Ulead Instant Viewerは、ツールバーのボタンが固定されていて、位置を変更することは出来ません。

ツールバー ボタンの追加：

1. [ファイル] : [ツールバーのカスタマイズ]
2. [ツールバーを選択] のドロップダウンリストからツールバーを選択します。
3. [現在のツールバーボタン] リストからボタンをクリックして選択します。この場合、新しいボタンがその選択したボタンの前に配置されるようになります。
4. [使用可能なツールバーボタン] リストから、追加する新しいボタンを選択します。
5. [追加] をクリックし、選択したツールバーに新しいボタンを追加します。
6. [アイコンオプション] リストでボタンサイズを選択します。ご使用のコンピュータの画面を低解像度モードに設定している場合、[小さいアイコン] を選択してください。例として、800x600またはそれ以下の場合や、ツールバーボタンが完全にPhoto Explorer ウィンドウに表示されない場合に行ってください。



[ツールバーのカスタム] のダイアログボックス

注意：

- ① ツールバーのボタンを並べ替える場合、現在のツールバーリストから目当てのボタンを選択し、[上へ移動] または [下へ移動] ボタンを押します。
- ② ボタンを削除する場合、現在のツールバーリストから目当てのボタンを選択し、[削除] ボタンを押します。
- ③ 選択したツールバーを元の状態に戻す場合、[リセット] ボタンを押します。

Tips

- ❑ 一般の指令は、右クリックのポップアップメニューでアクセス出来ます。 ツールバーにボタンを追加する場合、右クリックメニューにない指令を対象にする事をお勧めします。
- ❑ ツールバーのボタンに説明ラベルを付加する場合、[表示] : [ツールバー] を選択し、[テキスト] ラベルオプションを選択します。

ファイルのブラウズと管理

PhotoExplorerはサムネイル表示によるアクセスの利便性とWindows Explorer に似た操作感覚で、マルチメディアデータの取り扱いに最適です。

ファイルをサムネイルやリストビューで表示する

[フォルダツリー] からフォルダ選択しますと、マルチメディアファイルは、Photo Explorer ウィンドウの右側にあるブラウズペインに、サムネイルとして表示されます。サムネイルはオリジナルイメージファイルの小型化したコピー、あるいはある種のファイルを表示するアイコンです。ビデオやGIFアニメーションファイルの場合、先頭フレームがサムネイルとして表示されます。

ファイルの詳細情報を表示する場合、リストビューモードに設定します。この場合、[表示] : [サムネイル/リストモード] を選択すると、サムネイルモードとリストビューモードの間で切り替わります。



サンプルサムネイル

Tip

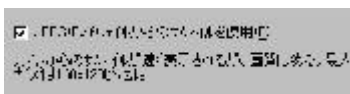
サムネイルと一緒に表示する情報を選択する場合、[ファイル] : [環境設定] - [全般] オプションを選択します。この場合、開いた [環境設定] のダイアログボックス中で、表示オプションは [ペイン表示オプションの参照] の下にあります。

サムネイル表示のスピードアップ

フォルダに大量のマルチメディアが存在している場合、これらのファイルのサムネイルを作成してから画面に表示すると、余分に時間が掛かります。この場合、Photo Explorer はこれらのサムネイルをキャッシュフォルダに保存します。これにより、次にこれらのフォルダにアクセスすると、Photo Explorer は保存していたサムネイルキャッシュデータを読み込んで表示するので、表示時間の短縮につながります。

[ファイル] : [環境設定] の [キャッシュ] にて設定が可能です。

近年発売された数多くのデジタルカメラは、写真を撮ると、自動的にサムネイルデータをファイルに内蔵する機能を備えています。これらのJPEG (Exif/DCF) イメージファイルからサムネイルを読み込む様にPhotoExplorerを設定すると、サムネイルを作成する手間を省く事が可能です。この場合、[カメラと情報] カテゴリの環境設定ダイアログボックスで、[JPEG(Exif)ファイルからのサムネイルを使用] オプションを選択します。この様に設定すると、サムネイルの表示スピードが向上します。但し、カメラが作成したサムネイルのサイズ(最大160×120ピクセル)に固定され、変更する事は出来ません。又、表示品質はあまり良くありません。



キャッシュフォルダのサイズは、[キャッシュ] カテゴリの環境設定ダイアログボックスで設定します。サムネイル保存用のディスクスペースを増やす場合、[キャッシュサイズ]の設定値を上げます。サムネイルファイルを削除してディスクスペースを増やす場合、[キャッシュをクリア]をクリックします。

プレビューファイル

Photo Explorerでファイルを選択すると、該当ファイルのプレビューイメージは即座に[プレビューペイン]に表示されます。表示サイズを調整する場合、プレビューペインの境界をドラッグします。

注意：

- 👉 アニメーションGIFファイルの再生は、オリジナルサイズのものに限って可能です。
- ✌ 表示したファイルのタイプにより、プレビューペインのボタンは異なります。



プレビューペイン

プレビュー可能なファイルは：

- **イメージファイル** - プレビューを拡大する場合、ズームインします。イメージ全体を見る場合、ズームアウトします。
- **Exif形式のJPEGファイル** - 数多くの新型のデジタルカメラは付属情報（撮影日付やカメラ設定）を保存する事が出来、一部のカメラではオーディオ情報も保存できる場合があります。これらのJPEGファイルをプレビューペインで開くと、ファイルに組み込まれているExif情報やオーディオ情報にアクセス・再生が出来ます。
- **オーディオとビデオファイル** - オーディオとビデオファイルを再生し、簡単に画像の早送り・巻き戻しが出来ます。
- **UESファイル** - このファイルはPhoto Explorerで作成したスライドショープロジェクトファイルです。この場合、ファイルを再生したり、スライドショーストーリーボードで開いて編集する事が出来ます。

注意：他のファイル形式については、該当ファイルを選択して、プレビューペインの「開く」ボタンを押します。又、プレビューペインでフォルダを開く事は可能です。

ファイルのブラウズ

コンピュータに大量なファイルや複雑なフォルダ構造が存在している場合、必要とするファイルを探し出すには、相当手間が掛かります。特に各フォルダをクリックしながら内容を確認する場合、相当な時間を費やします。

Photo Explorerのブラウズ機能を利用すると、より効率よく必要なファイルを見つけ出せます。

Photo Explorerでファイルやフォルダをブラウズする場合のヒントは下記の通りです：

○ 直接ファイル又はフォルダへジャンプ：

ファイル名又はフォルダ名の一番目の文字（あるいは数字）キーを押します。もしも選択されたファイル又はフォルダが目的のものでない場合、同じキーを押して次のファイルまたはフォルダへ移ります。

○ 前後のフォルダへの移動：

「前へ」「次へ」ボタンをブラウズツールバーに追加します。Webブラウザのボタンと同様に、Photo Explorerでこれらのボタンを利用して、過去利用したフォルダをブラウズできます。これらのボタンを追加する場合、「ファイル」：「ツールバーをカスタム」を選択します。



○ 頻繁に開くフォルダをまとめる：

更に速く頻繁に開くフォルダへアクセスする為、これらのフォルダをお気に入りリストに追加します。追加する場合、
[お気に入り]：[お気に入りに追加]を選択します。

(フォルダをリストヘドラッグしても登録できます。)

○ ファイルの表示順序をアレンジし、お気に入りのブラウズ方式に合わせます：

ファイルを並べ替える場合、[表示]：[並べ替え]を選択します。あるいはデジタルカメラからのファイルを撮影日付で並べ替える場合、[ツール]：[撮影日付により配列]を選択します。



注意：[表示]：[並べ替え]-[日付]を選択しますと、コンピュータに保存された日付でファイルをアレンジします。デジタルカメラからのイメージを撮影日付でアレンジする場合、[ツール]：[撮影日付により配列]を選択します。

マルチメディアファイルの管理

Windows Explorerと同様に、Photo Explorerでファイルを管理できます。ファイルのコピー、貼り付け、削除、名前の変更、ファイルの検索等の処理をドラッグ&ドロップ、ポイント&クリック、[編集]メニューより選択する事で実行できます。その他に、Photo Explorerはイメージやマルチメディアファイルを扱ういくつかの機能を備えています：

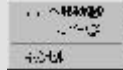
- [ブラウズペイン]にあるイメージファイルをダブルクリックすること(あるいは[表示]：[ビューアを開く]のいずれかをクリックする)により、イメージをフルサイズでビューアに開けます。
- イメージファイルの内容をコピーする場合、[編集]：[イメージ内容をコピー]を選択します。これで、イメージをイメージエディタへ貼り付けることが可能になります。
- イメージに説明用の文字列を入力する場合、[編集]：[イメージを説明]を選択します。
- ファイル名、説明内容や日付(ファイルの作成日付か、イメージの撮影日付のいずれか)で目当てのファイルを検索する場合、[編集]：[検索]を選択します。
- イメージを調整する場合[フォト]メニューにある[イメージを調整]を利用します。
- イメージファイルを指定のイメージエディタで本格的な編集を行う場合、[フォト]メニューの[XXXで編集]のいずれかを選択します。
- Photo Explorer Browser のどの部分で右クリックしても、ポップアップメニューが現れ、多用されるコマンドにアクセス出来ます。右クリックした位置により、選択可能なコマンドは異なります。

注意:

右クリックで選択したファイルを他のフォルダにドラッグする事も出来ます。この場合、ポップアップメニューでこれらのファイルをコピーするか移動するかを選択できます。



前回削除したファイルを戻す場合、[編集] : [元に戻す 削除] を選択します。又、前回選択したファイルを再度削除する場合、[編集] : [繰り返し 削除] を選択します (他のファイル処理は元に戻したり、繰り返ししたり出来ません。)



お気に入りのフォルダのリストを作成

扱うファイルが幾つかのフォルダに分散している場合、そのファイルの位置を忘れてしまうことがあります。この様な時、頻繁にアクセスするフォルダについて、[お気に入りリスト] に追加する事で、フォルダへのアクセスをより容易にする事が可能です。

お気に入りリストへフォルダを追加する場合：

1. [フォルダツリー] から目当てのフォルダを選択します。
2. [お気に入り] : [お気に入りに追加] を選択します (またはフォルダを右クリックして、[お気に入りに追加] を選択します)
3. 選択したフォルダの内容に合ったフォルダ名を入力します。

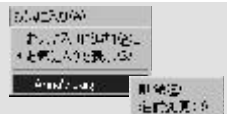
より早くお気に入りのフォルダを追加する場合、ドラッグ&ドロップで行います。この場合、[フォルダツリー] の画面で、フォルダを選択し、[お気に入り] タブにドラッグします。次に、フォルダを [お気に入り] リストにドロップすれば完了です。

お気に入りのフォルダにアクセスする場合：

- フォルダツリーの [お気に入り] タブをクリックします。
- [お気に入り] : [お気に入りを表示] を選択します (あるいはフォルダツリー範囲で右クリックし、[お気に入りを表示] を選択します)
- または、直接 [お気に入り] メニューからフォルダを選択します。



注意: Windows 98 や Windows 2000 環境で Photo Explorer を使用した場合、[お気に入り] メニューにあるお気に入りのフォルダを右クリックし、現れたポップアップメニューで、選択したお気に入りのフォルダを削除する事が可能です。



カメラやスキャナとの連携

イメージのソースは色々あります。Photo Explorerでは、デジタルカメラで撮った写真をPCに転送する事が可能です。スキャナーをお持ちの場合、写真や文書をイメージデータに変換して、直接Photo Explorerに転送する事も可能です。お気に入りのイメージが集まったら、手軽にファイル名を変更したり、見やすい順序で並び替えれます。

デジタルカメラウィザード

デジタルカメラウィザードを利用すると、より速く簡単にデジタルカメラからイメージを読み込みめます。デジタルカメラやメモリーカードリーダーに挿入したメモリーカードからデータを読み込む場合、このウィザードを利用してください。

デジタルカメラウィザードでイメージを読み込む場合：

1. [ファイル]：[デジタルカメラウィザード]を選択します。
2. [設定]をクリックして、入力デバイスを選択します。
3. [デジタルカメラ名] から該当する設備タイプを選択します。（ほとんどの場合、[全般] オプションを選択すれば良いでしょう）
4. [イメージソース] セクションで、次の [マイコンピュータのカメラフォルダから読み取る] を選択し、デジタルカメラからイメージを読み込むように設定します。[参照] ボタンをクリックして、該当のカメラの位置を確認します。

他の場合では、一番目のオプションで、
[メモリーカードリーダーかディスクから読み取る] オプションを選択します。次に
[自動検索] ボタンを押し、自動的に該当のカードドライブを識別します。

注意： Photo Explorer はJFIF規格の DCF（カメラファイルシステム）に対応したフラッシュメモリーカード形式をサポートしています。



[デジタルカメラウィザード]のダイアログボックス



[デジタルカメラウィザードの設定]のダイアログボックス

Tips

5. [イメージ保存先]で、イメージを保存するマスタフォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックして、デジタルカメラウィザードのダイアログボックスに戻ります。
6. イメージをコンピュータに転送する度に、特定のサブフォルダに保存する事が可能です。この場合、[イメージの転送先]で、利用するサブフォルダを選択します。例として、上記サブフォルダ名を通じてイメージの転送日付を示す場合、[日付と時間に基づいて新規サブフォルダを作成]オプションを選択します。

デジタルカメラの特定フォルダにあるイメージを削除する場合、あるいはメモリーカードドライブにある全ての情報を削除する場合、[ファイル]：[メモリーカードをクリア]を選択します。この場合、[環境設定]ボタンをクリックして、[デジタルカメラウィザードセットアップ]ダイアログボックスを開き、どのソースデバイスのイメージを削除するかを選択します。



7. [スタート]ボタンをクリックして、イメージの転送を始めます。

TWAIN デバイスからのイメージ入力

ほとんどのスキャナとデジタルカメラはイメージをご使用のPCに転送する為のTWAIN ソフトウェアが付属しています。イメージの転送を行う前に、関連のTWAIN ソフトウェアがインストール済みであることを確認して下さい。

TWAIN ソフトでイメージを読み込む場合：

1. イメージを保存する新規フォルダを作成します。
2. [ファイル]：[TWAIN装置から入力]：[装置の選択]を選択し、ご使用のスキャナあるいはデジタルカメラを選択します。
3. [ファイル]：[TWAIN装置の設定]：[ファイル設定]を選択します。
4. [保存するファイル形式]を選択します（圧縮ファイルを扱う場合、JPEGを選択します）
5. [ファイルの名付け方]ボックスで、ファイル名を入力します。この場合、各イメージファイル名は、上記ファイル名の後ろに順番を付け加えたものとなります（例：Img0001, Img0002, 等）。
6. [ファイル]：[TWAIN読み込み]：[入力実行]をクリックして、イメージを読み込みます。

Tip



Photo Explorer はイメージをコンピュータに転送を済ませると、UleadのiMira Webサイトにアップロードする事が可能です。iMiraサイトにイメージを転送する場合、[TWAIN入力ファイル設定]のダイアログボックスの[Webに送る]で、関連オプションを選択します。

Photo Explorerでは、スキャナからイメージを読み取る場合のみに限って、[ファイル] : [TWAIN] を選択することをおすすめします。デジタルカメラの場合は、[ファイル] : [デジタルカメラウィザード] の方を選択してください。ほとんどの場合、TWAIN転送を行っている時、カメラからのJPEG イメージは一旦展開され、ある程度品質を失った状態で保存されます。この場合、Exif カメラ情報も失う事があります。デジタルカメラウィザードを利用する事により、TWAIN転送の際に起きる問題を避ける事が出来ます。



ファイル名の変更と順序の並べ替え

デジタルカメラやスキャナからイメージを読み込んだ後、これらのファイル名を変更したり、順序を並べ替える事が出来ます。この場合、[ツール] : [名前の自動変更] を選択しますと、自動的にファイル名を変更します。

自動的にファイル名を変更する場合：

1. 名前を変更するファイルを選択し、[ツール] : [名前の自動変更] を選択します。
2. 既定の設定では、ファイル名を変更し、1からの順番に番号を付加する事になっています。[スマート] ボタンをクリックし、上記の既定値を利用します。
3. [新規] をクリックして、他のファイルの名前変更方式を定義します。
4. 一括処理のダイアログボックスで、いずれかのタブをクリックする事より、名前の変更方式を選択します。タブをクリックして関連の設定を調整したあと、[OK] ボタンをクリックします。
5. ファイル名を変更する際の新たな条件を設定する場合、ステップ2と3を繰り返してください。
6. [名前の自動変更] のダイアログボックスで、[OK] ボタンをクリックし、名前の変更を始めます。

注意：



[バッチ処理] のダイアログボックスでは、一度に一つの判断基準しか扱えません。判断基準の設定を完了しますと、[OK] をクリックします。



[名前の自動変更] のダイアログボックスのリストには、全ての前もって定義した名前変更基準が含まれています。名前変更プロセスは一番上の基準から実行します。

名前変更 | 番号の振り替え | 大文字と小文字の変更 | 置き換え | 追加 | 削除 | 名前を

[バッチ処理] のダイアログボックスのタブをクリックして、ファイル名の変更に用いられる判断基準を定義します。

☐ **名前を変更** - イメージに新しい名前を付与します。序列番号を付加することにより、ファイル名に順番を付けます。

☐ **番号の振り替え** - ファイル名の番号割り当て方式を変更します。

☐ **大文字と小文字の変更** - ファイル名を大文字か小文字かに変換します。

☐ **置き換え** - ファイル名の一部を変更します。

☐ **追加** - 新たな文字列をファイル名に組み込む事により、ファイル名を長くします。

☐ **クロップ** - ファイル名の一部の文字列を削除する事により、ファイル名を短くします。

☐ **リパッド** - ファイル名の序列番号の長さが、他のファイル名のものと一致しない場合、新たに一つ、又は複数の "0" を挿し込みます。(例：複数のファイル名がFile001、File002、及びFile3の場合、最終のファイル名はFile003に変更します。)

ファイルの順序をドラッグとドロップで並べ替える

ある一部のファイルの順序を並べ替える場合、マニュアルでファイル名を変更したり、ファイルの順序を並べ替えることが出来ます。この場合、同じフォルダの中で、ファイルを希望の位置までドラッグするだけです。ファイルを他の位置にドラッグすると、Photo Explorerは自動的にファイル名を新しい位置に合った名前に変更します。

ドラッグとドロップでファイルの順序を変更する場合、まずこれらのファイルを名前前で並べ替える必要があります。上記の通りになってない場合、システムはユーザーにファイルを並べ替えるよう、メッセージボックスで要求します。下表では、ドラッグとドロップでファイルが同じフォルダで、どのように並べ替えるかの例を示したものです。“サンプル結果”の欄では、二番目のファイルは新たに配置したものです。

例えば....	サンプル結果
前のファイル名と次のファイル名が同じ序列番号が 付いている場合 あるいは、 前のファイル名の序列番号は次のより小さい場合	File10, File15 , File20 File10, File10a , File11 File2, File21 , File22
前のファイル名の序列番号は次のより大きい場合	File35, File36 , File4

注意： この作業以降に、更に組織化する為に序列方法をファイルに適用する場合、
[ツール] : [名前の自動変更] を選択します。

イメージの表示

より大きくハッキリとイメージを表示する場合、Photo Explorerの内蔵ビューア（切り換え表示）かUlead Instant Viewer（別ウインドウ）でイメージを開きます。

Photo Explorerの内蔵ビューアを利用する場合



フルサイズのイメージを一つずつ表示して、いつでも編集出来るようにする場合、Photo Explorerに内蔵しているビューアを利用します。イメージファイルをダブルクリックすることにより、内蔵のビューアで開けます。または、[表示] : [ビューアを開く]を選択するか、ブラウザツールバーにある[ビューアを開く]ボタンをクリックし、Photo Explorerに内蔵しているビューアでイメージを開く事が出来ます。

この内蔵式のビューアは一種のファイルリストで、イメージのステップ順序を管理します。ただし、選択したファイルにより、ビューアが維持するファイルリストも異なります。

- 一つのイメージファイルを選択した場合、ビューアが維持するファイルリストは現在のフォルダの内容に従います。この場合、上記フォルダの中にあるイメージを、特定の順序に従って、次々と切り替えて表示する事が可能です。

注意：他のフォルダに変更する場合、ブラウザへ戻って、お気に入りのフォルダを選択します。この場合、[Esc]キーを押すか、ビューアツールバーの[戻る]ボタン  を押すかにより、ブラウザへ戻ることが出来ます。

- 複数のファイルを選択して開いた場合、ビューアのファイルリストは選択したファイルを追加します。この場合、これらのファイルのみに限って、切り替えながら表示する事が出来ます。
- [ファイル] : [ビューアに追加]を選択した場合、この内蔵式のビューアであるイメージファイルを開く事が出来ます。この指令で、異なったフォルダから複数のファイルを選択し、ビューアの現在のファイルリストに追加する事が可能になります。



Ulead Instant Viewerを利用する場合

Ulead Instant Viewer はPhoto Explorerの内蔵式ビューアに似ていますが、イメージの表示専用のもので、編集する機能は一切ありません。複数のフルサイズのイメージを表示して比較したい場合、Instant Viewerを利用してください。各イメージは独立したビューアにて開くことが出来ます。

Ulead Instant Viewerを利用してイメージを表示する場合：

- まずブラウザからイメージファイルを選択した後、[表示] : [新しいビューアで開く] を選択し、独立した別ウインドウでイメージを開きます。
- InstantViewerでイメージが開くと、現在のフォルダの内容がファイルリストに登録され、上記フォルダにあるイメージファイルを閲覧できるようになります。他のフォルダに変更する場合、[ファイル] : [開く] を選択し、該当フォルダ中にあるいずれかのファイルを選択します。
- 異なったフォルダから複数のファイルを選択して、次々に閲覧する場合、[ファイル] : [ビューアに追加] を選択します。



デフォルトの設定では、ブラウザの中でイメージファイルをダブルクリックすると、自動的にPhoto Explorerの内蔵ビューアで開きます。イメージファイルをダブルクリックした際、Ulead Instant Viewer で別々のウインドウに開きたい場合、[ファイル] : [環境設定] : [ビューア] を選択して、[常に新規ビューアでイメージを開く] オプションを選択します。



Ulead Instant Viewerはファイル名の順序でコマを進めます。(ホイールスクロール対応)



Photo Explorerをインストールしますと、イメージファイル形式と関連付けすることができます。この場合、Ulead Instant Viewer はデフォルトのイメージビューアとなります。

次のイメージファイルを見る

イメージを次々に閲覧する場合、キーボードのショットカットキー、ツールバーボタン、あるいは[表示]メニューの指令で、次のイメージを表示させます。Photo Explorerの内蔵ビューア及びUlead Instant Viewerは共に同じ表示コントロール方式を採用しています。キーボードの[PageUp] [PageDown] やホイールスクロールの回転で前進・後進に対応します。詳しい情報について、ビューア画面で[F1] キー押し、オンラインヘルプにアクセスしてください。

デジタルフォト情報の表示

デジタルカメラから転送してきたJPEG (Exif) イメージには、撮影時のカメラ設定情報が含まれています。カメラ設定の一覧を表示する場合、[ファイル] : [フォトプロパティ] を選択します。より正確な情報を表示する場合、[ファイル] : [ファイルプロパティ] - [カメラ情報 (Exif)] を選択します。撮影のプロ・初心者に関わらず、これらの情報を閲覧する事により、ご使用のカメラに対する理解を深め、更に良い写真が撮れるようになるでしょう。

デジタルカメラの焦点距離（カメラレンズのズームの表示値）の設定は、従来のフィルムを使用するカメラ（35mmフィルム）と違う事に注意して下さい。これはフィルム使用のカメラに比べ、デジタルカメラの受像素子（CCD）が非常に小さく、又デジタルカメラのレンズとその焦点距離も非常に小さい為でもあります。

デジタルカメラの焦点距離を理解しやすくする為、カメラメーカーは“35mmフィルム換算”でカメラレンズの仕様を併記しています。全てのデジタルカメラに対して、ある特定の係数でこの仕様に変換にする事が可能です。（例として、Canon S10 デジタルカメラの変換値は5.55です）

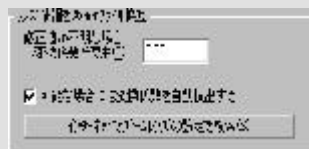
ほとんどのデジタルカメラモデルに対して、Photo Explorerは既に正しい変換値を記憶している為、自動的に正確な35mmフィルム換算のレンズ焦点距離を算出する事が出来ます。認識できないカメラについて、Photo Explorerは自動的にズーム値の後ろに星印を付加します。（例として、Zoom(Focallength): 41mm (equiv.) *。）この場合、ユーザーは環境設定ダイアログボックスの「カメラと情報」で、正しい「変換値」を入力します。又、自動検知機能を無効にする必要があるので、必ず「変換値の自動検知」オプションを取り消してください。



フォトプロパティの
ダイアログボックス

Tips

- お手持ちのカメラに対応する正しい変換値を探す場合、
「インターネットでズームレンズの設定を検索」ボタンを



クリックするとWebサイトからデータをダウンロードします。（例：SONY社のカメラモデルは自動的に識別されません）ご使用のカメラがリストに入っていない場合、カメラメーカーのWebサイトにアクセスして、お問い合わせください。

- 実際のズームレンズ値で表示する場合、変換要素の設定値を1.0にします。

イメージの編集

イメージ、特にデジタルカメラやスキャナからのイメージについて、ある程度の調節が必要な場合があります。Photo Explorer にはイメージを簡単に修正する機能を備えています。

イメージの編集ツール

Photo Explorer はイメージ修正用の基本的なツールを備えています。ブラウザや内蔵のビューアの [フォト] メニューで (対応のツールバーボタンをクリックし)、これらの編集ツールにアクセスする事が出来ます。

- **回転** イメージを左右方向に90または180度回転させます。
- **フリップ** イメージを上下反転させるか (垂直方向にフリップ)、左右反転させます (水平方向にフリップ)。
- **イメージを調整** 色合いを調整したり、必要ない部分を削除すること等により、イメージを修正又は改善します。
- **レッドアイを除去** カメラのフラッシュによる “ レッドアイ ” を除去します。
- **写真の中の文字を見やすくする** デジタルカメラやスキャナから取り込んだテキストを含んだイメージを調整します。
- **マルチフレームイメージを分割** マルチフレームのTIFFファイルやGIFアニメーションファイルから各フレームを切り分けて、各々をイメージファイルとして保存します。
- **イメージにテキストを追加** イメージに挨拶言葉等の文字列を付加します。
- **スタンプを追加** イメージに付加出来る一般的な見出しを表示します。



Tips

- 更に細かいイメージ編集を行う場合、[ファイル] : [環境設定] - [イメージエディタ] を選択して、最高3つ迄のイメージエディタアプリケーションを追加する事が出来ます。次に、[フォト] : [編集] からお気に入りのエディタを選択し、イメージを編集します。
- イメージを他のファイル形式に変換する場合、[ツール] : [イメージファイルを変換] を選択します。

イメージの調整

時として撮影結果が暗すぎたり、撮影当時の光の不具合のため、色が上手く出ていない場合があります。又、特にカメラをまっすぐにしていない為、撮ったイメージが斜めになっている場合があります。これらの不具合を修正する場合、**「フォト」**： **「イメージを調整」**を選択します。

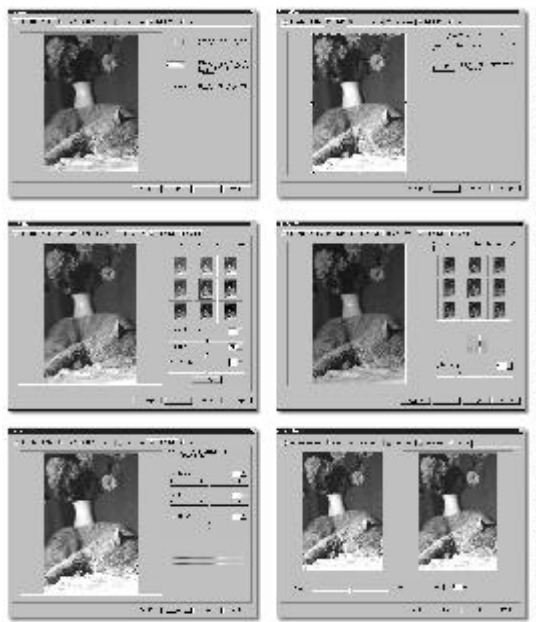
Photo Explorer は、同じイメージの調整過程を複数のイメージに適用する事が可能です。つまり、複数のイメージファイルを調整する場合、同じ調整過程を全てのファイルに自動適用する事ができます。



「複数のイメージを調整」の
ダイアログボックス

「イメージを調整」のダイアログボックスで、下記タブをクリックする事により、調整を行います：

- **オートストレートと回転**
歪んだイメージをまっすぐに調整します。
- **クロップ** イメージの不必要な部分を切り取ります。
- **明度とコントラスト**
イメージを明るくしたり、暗くしたりします。
- **カラーバランス** イメージの色をもっと実際の色に近い状態に調整するか、あるいはイメージ全体の色合を調整します。
- **色相と彩度** イメージの色合を他の色相に変換したり、色の濃淡（強度）を調整します。
- **フォーカス** イメージをより鮮明にしたり、ぼかしたりします。



[イメージを調整] のダイアログボックス

レッドアイの除去

フラッシュを使って人物写真を撮ると、時々“レッドアイ（赤目）”現象が現れます。この場合、PhotoExplorerは素早くこの不具合を解決する事が出来ます。

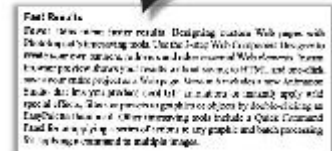
イメージのレッドアイを除去する場合、[フォト]：[レッドアイを除去]を選択します。この場合の対策方法は、赤色の強度を下げるか、あるいはもっと自然な色に入れ替えることです。詳細な情報を閲覧したい場合、[レッドアイを除去]のダイアログボックスのヘルプボタンを押します。



「レッドアイを除去」のダイアログボックス

テキストを含んでいるイメージの調整

会議室のホワイトボードや書類のデジタルカメラのデータは、時に均でない灰色がかった背景になります。この場合、[フォト]：[写真の中の文字を見やすくする]を選択して、コントラストを調節することにより、背景を白くすることが出来ます。コントラストを高くすることにより、イメージにあるテキストをより濃く、かつ鮮明に出来ます。



結果サンプル

注意：イメージを印刷する場合、[白い背景のみを作成]を選択します。Eメールで転送する場合、イメージを（ファクス文書に似た）モノクロ形式に変換するオプションを選択すると、より小さいファイルサイズになります。

印 刷

イメージを納得するまで調節した後、次は印刷します。Photo Explorer は色々な形式で印刷する事が可能です。

ステキなプリントをする事が出来ます

Photo Explorerでは、色々なレイアウトや印刷オプションがあるので、様々なイメージの印刷を楽しめます。出力の形式を選択する場合、[ファイル] : [印刷] を選択します。Photo Explorerで利用できる形式は下記の通りです：

フォト印刷

一般のインクジェットプリンターや高画質のフォトプリンターで写真を印刷します。イメージデータを実際のサイズ、又はカスタムサイズや標準設定のサイズ(3.5、4、5、6、8、2、名刺サイズ)で印刷するかを選択する事が可能です。



サムネイル印刷のサンプル

サムネイル印刷

フォルダ中にある全てのイメージをサムネイル形式で、カタログの様に印刷します。この場合、各行/列ごとにいくつかのサムネイルを印刷するか、サムネイルと一緒に出力する情報などを選択します。

カード

作成したイメージを1/2または1/4のエリアにレイアウトした挨拶状 / 年賀状を印刷します。



1/2仕様の挨拶状

Tip

イメージに挨拶文を付加する場合、[フォト] : [イメージにテキストを付加] を選択します。

特殊レイアウト

一度にサイズが異なった複数のイメージを印刷します。この場合、可能なイメージサイズの組み合わせから選択します。

注 意 : Photo Explorer でWeb にイメージをアップロードしたり、写真印刷の注文を出す事が可能です。詳細について、ページ35の“オンラインで写真印刷を注文する”を御参照下さい。

ビデオデータの利用

Photo Explorerの新機能、ビデオのキャプチャやビデオクリップのトリミング機能により、家族や親友に、ビデオレター付きの楽しいEメールを送ることが出来ます。ビデオデータの変換処理を行い、小さいファイルにまとめた後、Eメールで送信する事が可能です。勿論、ビデオから一枚のイメージや連続スナップショットをキャプチャする事も出来ます。



ビデオのキャプチャとトリム

手持ちのPCカメラやDVカメラをコンピュータに接続して、Photo Explorerでビデオクリップをキャプチャし、ハードディスクに転送する事が出来ます。キャプチャした後、必要な場合、ビデオクリップをトリムし、クリップの先頭部分と最終部分を切り取ります。

注意：

- ☞ DVカムコードを使用する場合、コンピュータにIEEE-1394キャプチャカード (iLink) をインストールする必要があります。アナログビデオカメラの場合もビデオキャプチャカードが必要です。キャプチャを始める前に、キャプチャカードのドライバが正しくコンピュータにインストールされている事を確認して下さい。
- ☞ DirectShowドライバをサポートしているキャプチャカードのみ対応しています。(VideoForWindowsには未対応です)

ビデオクリップをキャプチャする場合：

1. ビデオカメラをコンピュータに接続し、電源を入れます。
2. [ビデオ]：[ビデオをキャプチャ]を選択します。この時、画面にはライブビデオが映ります。
3. [オプション]をクリックした後、ビデオをどのようにキャプチャするかを指定します。
 - フレームレート 秒毎のキャプチャする画面数あるいは“フレーム”数を設定します。高いフレームレート(30fps)では、より自然な動きを得られます。逆に、より低いフレームレートでは、ギクシャクしたものになります。



[ビデオをキャプチャ]のダイアログボックス

Tips

ビデオの映像寸法が小さい場合、15 fpsでキャプチャを行う事により、十分にスムーズな画面が得られます。

- フレームサイズ - 設定可能な任意のビデオのフレームサイズを選択します。320 x 240 が一般的です。比較的小さいサイズはWebやEメールでの転送に適しています。

4. ビデオとオーディオを同時にキャプチャする場合、[オーディオをキャプチャ]を選択します。オーディオの品質を選択する場合、[オーディオ形式] ボタンを押します。

5. [レコード] をクリックして、キャプチャを始めます。

6. キャプチャしたビデオを*.AVI ビデオファイルに保存する場合、[保存] ボタンをクリックします。

7. ライブビデオを画面に映す場合、[ライブ] をクリックします。

ファイル保存の前後に関わらず、ビデオをトリムする事が可能です。ビデオファイルを保存した場合、[ビデオ] : [ビデオファイルをトリム] を選択します。次に、ビデオウインドウの下にあるスライダをドラッグしながら、ビデオのスタートポイントを選択して、[マークインを設定] をクリックします。同じ要領で、ビデオの終了する位置を選択し、[マークアウトを設定] ボタンをクリックします。



[オーディオ設定] のダイアログボックス

注 意 : ビデオファイルをより小さいサイズで保存する場合、[ビデオ] : [ビデオファイルを変換] を選択するか、あるいは [ビデオ] : [ビデオファイルを変換して送信] を選択します。



[ビデオをトリム] のダイアログボックス

ビデオから静止画をキャプチャする

ライブビデオからスナップショットをキャプチャして、イメージを別々に保存する場合、[ビデオ] : [静止イメージをキャプチャ] を選択します。キャプチャする場合、下記のような選択肢があります :

- 一つのイメージをキャプチャ この場合、目当ての一つ画面をキャプチャします。
- イメージシーケンスをキャプチャ この場合、ある間隔で自動的にスナップショットを一つずつキャプチャします。例として、10秒間隔でイメージをキャプチャする事が可能です。

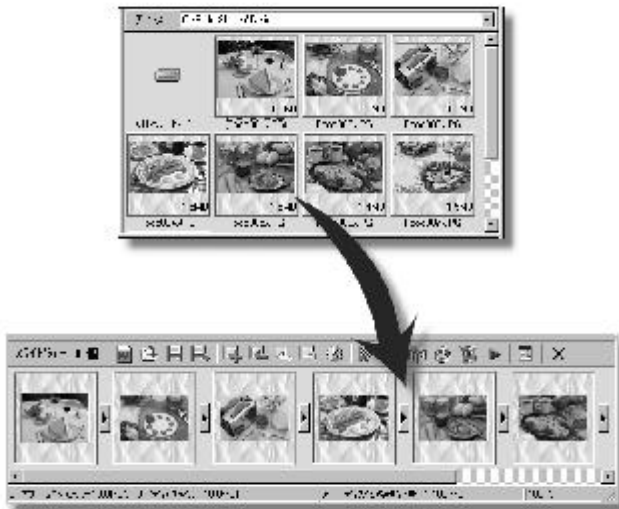
スライドショーやカレンダー作成 などのお楽しみメニュー

Photo Explorer を利用して、マルチメディアファイルで楽しいプロジェクトを作成出来ます。イメージ、ビデオやオーディオを組み合わせて、オリジナルのスライドショーを作成したり、お気に入りのイメージで、壁紙やカレンダーを作成し、デスクトップを楽しく飾る事も可能です。更に専用のスクリーンセーバーも作成出来ます。

スライドショーの作成

Photo Explorer の [スライドショーストーリーボード] で、イメージ、ビデオやオーディオを集めて、スライドショーの順序を決めます。

スライドショーで再生できるマルチメディアファイルは下記の通りです：



- イメージファイル - Photo Explorer が対応する全てのイメージファイル形式
- Exif 形式の JPEG - これらはデジタルカメラからのイメージファイルです。この Exif データは撮影時のカメラ情報を含んでいます。この形式に準拠した一部の J P E G ファイルにはオーディオ情報が含まれている場合があります。
- ビデオファイル - 一般に受け入れられているビデオファイル形式、例として AVI、MOV、MPEG 等があります。（特殊なコーデックや MPEG2 には未対応です）
- オーディオファイル - WAV、AU、MP3 ファイルなど。

スライドショーを作成する手順：

1. [スライドショーストーリーボード]を開いて、新規のプロジェクトを開く場合、[ツール]：[スライドショー]を選択します。
2. サムネイルのイメージ、ビデオ、オーディオを選択して、ストーリーボードにドラッグします。異なったフォルダからサムネイルをドラッグする事ができます。
3. サムネイルの順序を変更する場合、お気に入りの位置にドラッグするだけです。イメージを表示すると同時に、音楽を再生する場合、そのスライドイメージファイルの前のコマに、オーディオファイルを配置します。
4.  トランジション効果と他の表示オプションを選択する場合、[スライドショーオプション]を選択します。この場合、スライドショーを自動的にあるいはマニュアルで行うかを選択します。
5. 自動的に展開するスライドショーの場合、イメージを表示する表示時間を入力します。（この時間の設定値はイメージのみ有効で、ビデオとオーディオファイルは実際のクリップの時間長で再生します。）
6.  各イメージに別々な表示持続時間を設定する場合、各サムネイルを選択して、スライドプロパティボタンをクリックします。次に、選択したイメージの表示時間を設定してください。
7.  [保存]をクリックします。これ以降に設定を変更する場合、スライドショーストーリーボードに *.UES プロジェクトファイルを再度開いて下さい。

Tips

- スライドショーストーリーボードを右クリックすると、ポップアップメニューが現れ、より多くのコマンドにアクセス出来ます。
- Ulead Cool 360 ソフトウェアがインストール済みの場合、ストーリーボードのツールバーにある「パノラマをステッチ」 をクリックすると、複数のイメージを360度あるいはワイドアングルのパノラマに変換します。Cool360については弊社ホームページをご覧ください。



注意：

 オーディオファイルの後にイメージファイルが並んでいる場合、Photo Explorerは、まずオーディオファイルの再生を始めてから、続くイメージを再生し始めます。次のオーディオファイルか、ビデオファイルが現れる時まで、このオーディオファイルは引き続き再生されます。

 *.UES プロジェクトファイルにはファイルの順序、ファイル名やファイル位置、及びスライドショーのオプション等の情報が入っています。ただし、このプロジェクトには実際のイメージ、ビデオやオーディオ等のファイルは存在していません。

スライドショーに含まれているマルチメディアファイルは、異なったフォルダから選択できますが、スライドショーをCD-ROMで配布する場合、先ず全てのファイルを集めて、同じフォルダにコピーしてから、CDメディアへ記録します。

スライドショーファイルを同じ位置にコピーする場合：

1. ストーリーボードのツールバーにある [パッケージ] ボタンをクリックします。
2. スライドショープロジェクトファイル名 (*.UES) を入力します。この場合、同じファイル名や他の名前を指定する事が出来ます。
3. スライドショープロジェクトファイルとマルチメディアファイルをコピーするドライブとフォルダを指定します。
4. [OK] をクリックすると、ファイルを指定の位置にコピーします。



[パッケージ] のダイアログボックス

Tip

プロジェクトをWeb 向けのスライドショーに出力する場合、ストーリーボードのツールバーにある [エクスポート] ボタン  をクリックします。詳細について36 ページにある " Web 向けのスライドショーを作成 " を御参照下さい。

スライドショーの表示

全画面でスライドショーを表示します。スライドショーストーリーボードでプロジェクトファイルを作成し、ストーリーボードツールバーにあるボタン  をクリックします。

マニュアルでスライドショーを進める場合、マウスやキーボードのショートカットキーを利用します。あるいは、右クリックして、ポップアップメニューで、関連コマンドにアクセスする事も出来ます。

	マウスコントロール	キーボード ショートカット
次のスライド	左クリック	Space, PgDn, Right Arrow, Down Arrow
前のスライド		PgUp, Left Arrow, Up Arrow
最初のスライド		Home
最終のスライド		End
黒いスクリーン		D
白いスクリーン		W
ポーズ		P
終了		ESC, X

スライドショーディスクの作成

スライドショーを作成したら、ディスクバーナーを使ってスライドショーディスクを作成することができます。

スライドショーディスクを作成するには：

1. [スライドショーディスクの作成] をクリックしてください。[スライドショーディスクの作成 - 設定] のダイアログボックスが表示されます。
2. 以下のオプションは、スライドショーディスクを再生するデバイスを決定します。
 - 出力形式 -- スライドショーディスクのディスク形式を選択します。
 - TVシステム -- スライドショーディスクを再生するTVシステムを、NTSCとPALのいずれかから選択します。
3. 作成するディスクの [ディスクラベル] を指定します。
4. スライドショー作成に使用したオリジナルイメージ、ビデオ、オーディオファイルをスライドショーディスクにコピーする場合は、[オリジナルメディアファイルをディスクにコピー] を選択してください。([VCD用 Joliet ファイルシステム] オプションを選択すると、ディスクへの書き込み時に長いパスを維持することができます。)
5. CD書き込み過程において作成されるディスクイメージファイルを保存する [テンポラリ作業フォルダ] を選択してください。
6. [次へ] をクリックしてください。[新規スライドショーディスク - 完了] のダイアログボックスが表示されます。
7. CDバーナーと書き込み速度を選択してください。
8. 最後に [CDを作成] をクリックしてください。スライドショーディスクの作成が始まります。



スライドショーディスクの作成 - 設定のダイアログボックス



スライドショーディスクの作成 - 完了のダイアログボックス

他の楽しいプロジェクト：

Photo Explorerで、デスクトップ用の楽しいプロジェクトを作成出来ます。

壁紙

下記の手順でお気に入りのイメージでデスクトップの壁紙を作成出来ます。

1. イメージファイルを選択した後、[ツール]：[壁紙] を選択します
2. [イメージを壁紙として使用] を選択します。
3. イメージを画面の [中央] に表示する様に設定するか、あるいは [並べて表示] を選択します。



壁紙のサンプル

カレンダー

大事な日付を忘れない為にカレンダーを作成することが出来ます、下記の手順に従ってください。

1. イメージファイルを選択します、[ツール]：[カレンダー] を選択します。
2. [テンプレート] セクションで、カレンダーの方向 (縦横) と使用するテンプレートを選択します。
3. カレンダーの [月] と [年] を選択します。テキストを付加する場合、プレビューウィンドウのテキストボックスをダブルクリックし、文字を入力します。この場合、[フォント] と [カラー] ボタンをクリックして、フォントタイプと色を選択します。
4. [壁紙] ボタンをクリックして、カレンダーをデスクトップの壁紙に設定します。



カレンダーのサンプル

スクリーンセーバー

イメージを表示するもう一つの方法がスクリーンセーバーです。コンピュータをしばらく操作しないと、設定によりスクリーンセーバーが自動的に作動します。

Photo Explorerでは、スライドショーをスクリーンセーバーとして利用する事が可能です。この場合、ストーリーボードのツールバーにある [スクリーンセーバー] ボタン  をクリックします。(詳細はページ 29～31を御参照)

注 意： Photo Explorerで作成した壁紙、カレンダーあるいはスクリーンセーバーを有効にする場合、Windowsのデスクトップを右クリックし、[プロパティ] を選択します。次に、表示プロパティのダイアログボックスで [UleadPhotoExplorer] を選択します。(もしくはコンピュータを再起動して下さい)。

インターネットとの連携

Photo Explorerで、作成したイメージやマルチメディアファイルをインターネットで共有したり、イメージをiMira.ne.jpにアップロードしてオンラインでフォトプリントを注文したり、Eメールでファイルを転送したり、Webページにイメージを集めたり、スライドショーを表示する事が可能です。逆にPhoto Explorerで簡単にインターネットからイメージ、オーディオとビデオファイルを取り込むことが可能です。Photo Explorerは目当てのファイルを、選択したWebサイトから迅速にダウンロードする事が出来ます。



iMira.ne.jpでイメージを共有

無料の会員登録を済ませると、UleadのiMira.ne.jp Webサイトでイメージデータを共有できます。

iMira.ne.jpに会員登録する場合：

- PhotoExplorerを起動した際に [Ulead iMiraへの登録] ダイアログボックスが開いた場合、[新規アカウント登録] ボタンを押します。
- [インターネット] : [Web サービスに登録] を選択します。
- 又は、[インターネット] : [Web接続を設定] を選択します。[アカウント] タブで ユーザー名とパスワードを入力して、iMira.ne.jpサイトを選択し、[iMiraに新規アカウントを開く] をクリックします。



iMira.ne.jp の登録Webページ

イメージをiMira.ne.jpにアップロードする場合：

1. [インターネット : Web 接続を設定] をクリックします。
2. 各タブをクリックして、iMira.ne.jpに接続する設定とアップロードに関する設定を行います。

Tips

イメージをアップロードする際、オンラインフォトアルバムを選択出来るようにする為、[Misc] タブを選択して、その中の [アップロード先にアルバムを選択する] オプションを選択します。

注意：JPEG ファイルをアップロードする場合、Exif データ（例として、オーディオ）は一緒に転送されません。

3. イメージをアップロードする場合、[インターネット : Ulead Drop Spotを開く]を選択し、イメージファイルをこのウィンドウにドラッグします。
4. アップロード先のアルバムを指定します。
5. Photo Explorerがアップロードを完成すると、自動的にWeb ブラウザーを起動し、直接iMira.ne.jpにアクセスします。



[Ulead Drop Spot] のウィンドウ

オンラインで写真のプリントを注文

イメージの共有だけではなく、iMiraWebサイトはフォトプリントサービスも提供しております。iMira.ne.jpへアクセスして、アルバムに登録した画像からプリントを注文することやPhotoExplorerからダイレクトにオーダーフォームへ登録することができます。



注意：日本国内では、iMira サイトより [プリント@フジカラー] サービスをご利用下さい。

Web 向けのサムネイルページを作成

自分のフォトギャラリーを作って、画像をインターネットで公開する場合、最短距離は[インターネット : Webサムネイルを出力]を選択する事です。この機能で、わずか数分間で簡単なWebページが作成できます。これには表示されるサムネイルとページのインデックスが含まれています。

Webとサムネイルを作成する基本手順は次のページを御参照ください。詳細についてはWebレイアウトオプション画面で、[ヘルプ]を参照してください。

Tips

Webページとサムネイルの作成：

1. イメージを一つのフォルダに集めます。
2. 上記フォルダを指定し、[インターネット：Webサムネイルを出力]を選択します。
3. Webページの配置を調整します。
[Webページ出力]のダイアログボックスで、各タブをクリックして、レイアウトオプションを選択し、必要に応じてBGMを指定します。
4. [プレビュー]をクリックして、Webブラウザに表示される結果を確認します。
5. [OK]をクリックすると、HTMLファイルとサムネイルが完成します。

注意：Webページとサムネイルページを作成しても、ハードディスクに保存されるのみで、直接インターネットに公開はされません。

- [出力オプション] タブで、[Webページを作成] あるいは [Eメールで転送する自己解凍ファイルを作成] を選択します。
- [サムネイルページ] のタブで、[フレームを使用] を選択すると、ソースイメージと一緒にサムネイルページを表示します。
- Webページのレイアウトオプションを保存して、以降のWebページに適用する場合、[保存] をクリックします。上記のレイアウトオプションを適用する場合、[ロード] をクリックします。



Webサムネイルページのサンプル

Webスライドショーページを作成

Photo Explorer では印象残るスライドショーを簡単に作成出来ます。Web向けのスライドショーはフェードインとトランジション効果を備えています：

1. [ツール]：[スライドショー] を選択して、スライドショープロジェクトを開きます。
2. ツールバーの [エクスポート] をクリックします。

又は、[インターネット]：[Webスライドショーを出力] を選択して、選択したイメージファイルをWebスライドショーに出力する事も可能です。

注意：

👉 スライドショープロジェクトの作成に関する詳しい情報について、29ページの「スライドショーの作成」をご参照下さい。

👉 Webスライドショーを作成する場合、ビデオファイル及びオーディオファイルをスライドショープロジェクトに入れないで、イメージファイルのみ入れてください。

Tip

3. 各タブ（サムネイルページタブ以外）をクリックして、レイアウトオプションを選択し、BGMを指定します。
4. [OK] をクリックしますと、HTMLファイルとサムネイル(あるいは自己解凍のEXEファイル)が完成します。

注意：Webページレイアウトオプションの詳細を参照する場合、[Webページオプション]のダイアログボックスにある[ヘルプ]ボタンを押します。

インターネットからイメージをスキャンする

Photo Explorer はインターネットから迅速にファイルをダウンロードします。自動的にWebサイト全体を検索して、大量のファイルを読み取ります。もしWebページにリンクがあった場合、Photo Explorerはリンクに従って検索し、ファイルをダウンロードする事が出来ます。

ファイルをダウンロードする場合、[インターネット：インターネットからイメージをスキャン]を選択します。次にPhoto Explorerの指示に従って、下記7つの手順を行います。

1. スキャンする一番目のWebのURLアドレスを入力し、更にどのくらいの[レベル]を検索するかを指定します。
2. [ファイル形式]を指定します（イメージ、ビデオ、又はオーディオ）。
3. ダウンロードする[ファイルサイズ]を指定するか、又は[全て]を選択します。
3. ダウンロードする対象を全てのファイルにするか、新規ファイルのみか、或いはファイル更新かを選択します。
4. [アドレス範囲]で、どのリンクをたどって検索し、ファイルをダウンロードするかを指定します。
6. パスワード制限があるWebサイトの場合、有効なユーザー名とパスワードを入力します。
7. プロキシサーバーを経由してインターネットにアクセスする場合、設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[アドレス範囲] オプション

- ☐ 全てのリンクをたどる：リンクしているサイトからもファイルをダウンロードします。
- ☐ 同じWeb サイト：選択したWebサイトのページのみから、ファイルをダウンロードします。
- ☐ スタートポイント：スタートのWebページが保存されているディレクトリを対象に、その中に保存されているファイルをダウンロードします。（例として、手順1でwww.sample.com/main/index.htmlからダウンロードを始めると指定した場合、Photo Explorerはwww.sample.com/mainディレクトリに入っているファイルをダウンロードします。）

注意：アクティブサーバーページやCGIスクリプトで作成したWebページをこの機能でスキャンする事は出来ません。